屋外塗装工事を発注・施工する皆様へのお願い

VOC発生の少ない塗料（水系塗料やハイソリッド系塗料など）を使用しましょう。

≪外壁塗装工事の施工例≫

外壁塗装工事で水系塗料を使用

⇩

従来仕様（溶剤系塗料）と比べ、VOCを 81%削減

≪鋼道路橋工事の施工例≫

塗装工事で水系塗料を使用

⇩

従来仕様（溶剤系塗料）と比べ、VOCを 88%削減

〔東京都VOC対策ガイド（屋外塗装編）掲載の仕様によるVOC削減率の例〕

塗装仕様名称		VOC 量 [g/m²]			削減率[%]	
		現行仕様	低VOC	超低VOC	（現行→低 VOC）	（現行→超低 VOC）
鋼橋	新設（外面）	899	512	120	43	87
	新設（内面）	566	64	64	89	89
	塗替（A、B 系、1種ケレン）	621	472	56	24	91
	塗替塗装（C 系、4種ケレン）	208	96	14	54	93
コンクリート橋	新設（プレストレストコンクリート部材）	240	165	6	31	98
	新設（鉄筋コンクリート部材）	254	179	–	30	–
	塗替	240	165	6	31	98

〔東京都VOC対策ガイド（屋外塗装編）p.26 抜粋〕

塗料の保管・貯蔵管理を徹底しましょう。

- ▶直射日光を避け、通風の良い場所に保管しましょう。
- ▶容器の破損などによって塗料や溶剤が漏洩しないよう、丈夫な材質の容器を使用しましょう。
- ▶調合には、はかりを使用し、取扱説明書以上に希釈しないようにしましょう。
- ▶かくはんのために缶上部を切って開封した場合は、シートなどで、密閉化しましょう（右図）。
- ▶洗浄用の溶剤は一時に大量に用いず、少量ずつ回数を多くしましょう。

〔東京都VOC対策ガイド（屋外塗装編）p.28 抜粋〕

塗装時期の変更（夏季から秋・冬季）を検討しましょう。

光化学オキシダントの発生が広域化していることから、「夏季の VOC 対策」は、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・横浜市・川崎市・さいたま市・千葉市・相模原市が共同で呼びかけています。